

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

※赤字が第2回資料5からの追加・変更箇所

化学物質	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール		
物質No.	1	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	870	試験開始	2015.9.30
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2016.3.15
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	12.5 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	50 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 1 匹	200 mg/kg	<1308> 2015.11.26 ～ 2015.11.27	2 日	4.8%
			～	日	

合計	88 匹中 1 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール		
物質No.	1	試験対象動物	rasH2マウス
試験番号(バイオ)	900	試験開始	2017.9.8
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2019.3.29
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中 1 匹	0 mg/kg	1019	2018.3.13 ~ 2018.3.20	8 日	4.4%
低用量 投与群	25 匹中 0 匹	50 mg/kg		~	日	
中用量 投与群	25 匹中 0 匹	100 mg/kg		~	日	
高用量 投与群	25 匹中 0 匹	200 mg/kg		~	日	

合計	100 匹中 1 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール		
物質No.	1	試験対象動物	rasH2マウス
試験番号(バイオ)	901	試験開始	2017.9.8
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2019.3.29
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中	0 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
低用量 投与群	25 匹中	50 mg/kg	<2105>	2018.2.20 ～ 2018.2.22	3 日	1.6%
	1 匹			～	日	
中用量 投与群	25 匹中	100 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
高用量 投与群	25 匹中	200 mg/kg	<2307>	2018.3.19 ～ 2018.3.20	2 日	1.1%
	1 匹			～	日	

合計	100 匹中 2 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール		
物質No.	1	試験対象動物	p53KOマウス
試験番号(バイオ)	906	試験開始	2017.9.8
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2019.3.29
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中	0 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
低用量 投与群	25 匹中	50 mg/kg	<1124>	2018.8.10 ～ 2018.8.13	4 日	2.2%
	1 匹			～	日	
中用量 投与群	25 匹中	100 mg/kg	<1204>	2018.8.24 ～ 2018.9.11	19 日	10.4%
	1 匹			～	日	
高用量 投与群	25 匹中	200 mg/kg	<1301>	2018.8.14 ～ 2018.9.11	29 日	15.9%
			<1310>	2918.5.8 ～ 2018.5.10	27 日	14.8%
				2018.5.22 ～ 2018.5.30		
	2018.6.12 ～ 2018.6.22					
	<1313>		2018.7.17 ～ 2018.7.20	13 日	7.1%	
			2018.5.1 ～ 2018.5.10			
	<1316>		2018.9.30 ～ 2018.10.2	21 日	11.5%	
2018.5.22 ～ 2018.6.7						
5 匹	<1325>	2018.8.11 ～ 2018.8.14	7 日	3.8%		
	<1325>	2018.6.26 ～ 2018.7.2	7 日	3.8%		

合計	100 匹中 7 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール		
物質No.	1	試験対象動物	p53KOマウス
試験番号(バイオ)	907	試験開始	2017.9.8
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2019.3.29
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中	0 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
低用量 投与群	25 匹中	50 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
中用量 投与群	25 匹中	100 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
高用量 投与群	25 匹中	200 mg/kg	<2301>	2018.8.13 ～ 2018.8.14	2 日	1.1%
			<2303>	2018.5.8 ～ 2018.5.1	14 日	7.7%
			<2304>	2018.5.7 ～ 2018.6.5	30 日	16.5%
			<2307>	2018.5.8 ～ 2018.6.5	36 日	19.8%
				2018.6.13 ～ 2018.6.17		
			<2310>	2018.7.25 ～ 2018.7.26	29 日	15.9%
				2018.5.8 ～ 2018.5.18		
				2018.6.14 ～ 2018.6.19		
			2018.8.9 ～ 2018.8.20			
<2311>	2018.7.11 ～ 2018.7.12	2	1.1%			
<2313>	2018.6.13 ～ 2018.6.17	14 日	7.7%			
	2018.6.24 ～ 2018.7.2					
	7 匹					

合計	100 匹中 7 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	1-フェニルアミノ-4-イソプロピルアミノベンゼン		
物質No.	2	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	871	試験開始	2015.9.30
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2016.3.15
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量投与群	22 匹中 0 匹	4 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量投与群	22 匹中 0 匹	15 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量投与群	22 匹中 2 匹	60 mg/kg	1303 2015.11.29 ～ 2015.12.5	7 日	16.7%
			<1308> 2015.12.8 ～	1 日	2.4%

合計	88 匹中 2 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	パラ-トルエンスルホン酸メチル		
物質No.	3	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	879	試験開始	2016.9.12
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2017.2.15
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	40 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	80 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 1 匹	160 mg/kg	<1319> 2016.11.12 ～ 2016.11.13	1 日	2.4%
			～	日	

合計	88 匹中 1 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	m-クロロフェノール		
物質No.	4	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	880	試験開始	2016.9.12
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2017.2.15
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量投与群	22 匹中 0 匹	180 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量投与群	22 匹中 1 匹	360 mg/kg	<1214> 2016.10.30 ～	1 日	2.4%
			～	日	
高用量投与群	22 匹中 2 匹	720 mg/kg	1305 2016.11.17 ～ 2016.11.21	5 日	11.9%
			1311 2016.11.21 ～ 2016.11.26	6 日	14.3%

合計	88 匹中 3 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)ヘキサヒドロ-1,3,5-トリアジン-2,4,6-トリオン		
物質No.	5	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	898	試験開始	2017.9.8
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2018.2.15
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	12.5 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	10 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 0 匹	30 mg/kg	～	日	
			～	日	

合計	88 匹中 0 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)ヘキサヒドロ-1,3,5-トリアジン-2,4,6-トリオン		
物質No.	5	試験対象動物	rasH2マウス
試験番号(バイオ)	912	試験開始	2018.9.7
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2020.3.31
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中	0 mg/kg	<1001>	2019.2.12 ~ 2019.2.13	2 日	1.1%
	1 匹			~	日	
低用量 投与群	25 匹中	3 mg/kg		~	日	
	0 匹			~	日	
中用量 投与群	25 匹中	10 mg/kg		~	日	
	0 匹			~	日	
高用量 投与群	25 匹中	30 mg/kg	<1308>	2019.1.28 ~ 2019.2.5	9 日	4.9%
	1 匹			~	日	

合計	100 匹中 2 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)ヘキサヒドロ-1,3,5-トリアジン-2,4,6-トリオン		
物質No.	5	試験対象動物	rasH2マウス
試験番号(バイオ)	913	試験開始	2018.9.7
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2020.3.31
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中	0 mg/kg	2018	2019.1.28 ~ 2019.2.4	8 日	4.4%
	1 匹			~	日	
低用量 投与群	25 匹中	3 mg/kg	<2125>	2019.3.1 ~ 2015.3.4	4 日	2.2%
	1 匹			~	日	
中用量 投与群	25 匹中	10 mg/kg		~	日	
	0 匹			~	日	
高用量 投与群	25 匹中	30 mg/kg	<2301>	2019.3.19 ~ 2019.3.20	2 日	1.1%
	2 匹			<2303>	2019.3.14 ~	

合計	100 匹中 4 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)ヘキサヒドロ-1,3,5-トリアジン-2,4,6-トリオン		
物質No.	5	試験対象動物	p53KOマウス
試験番号(バイオ)	923	試験開始	2019.3.5
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2020.11.30
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中	0 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
低用量 投与群	25 匹中	3 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
中用量 投与群	25 匹中	10 mg/kg	<1208>	2019.9.10 ～ 2019.9.14	5 日	2.7%
			<1211>	2019.9.17 ～ 2019.9.18	2 日	1.1%
			<1212>	2019.9.20 ～ 2019.9.29	10 日	5.5%
	4 匹		<1221>	2019.9.27 ～ 2019.10.2	6 日	3.3%
高用量 投与群	25 匹中	30 mg/kg	<1301>	2019.6.18 ～	1 日	0.5%
			<1303>	2019.9.5 ～ 2019.9.7	3 日	1.6%
			<1304>	2019.8.21 ～ 2019.8.27	7 日	3.8%
			<1306>	2019.9.5 ～ 2019.9.16	12 日	6.6%
			<1307>	2019.6.10 ～ 2019.6.11	2 日	1.1%
			<1308>	2019.6.27 ～ 2019.6.28	2 日	1.1%
			<1310>	2019.9.3 ～ 2019.9.11	9 日	4.9%
			<1311>	2019.9.5 ～ 2019.9.7	3 日	1.6%
			<1312>	2019.8.30 ～ 2019.9.4	6 日	3.3%
			<1313>	2019.7.30 ～ 2019.7.31	2 日	1.1%
			<1314>	2019.6.23 ～ 2019.6.24	2 日	1.1%
			<1316>	2019.8.17 ～ 2019.8.19	3 日	1.6%
			<1317>	2019.10.1 ～ 2019.10.3	3 日	1.6%
			<1319>	2019.6.7 ～ 2019.6.8	2 日	1.1%
			<1320>	2019.6.27 ～ 2019.6.28	2 日	1.1%
	<1321>	2019.6.27 ～ 2019.6.28	2 日	1.1%		
17 匹	<1322>	2019.6.24 ～ 2019.6.25	2 日	1.1%		

合計	100 匹中 21 匹
----	----------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)ヘキサヒドロ-1,3,5-トリアジン-2,4,6-トリオン		
物質No.	5	試験対象動物	p53KOマウス
試験番号(バイオ)	924	試験開始	2019.3.5
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2020.11.30
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中 0 匹	0 mg/kg		～	日	
				～	日	
低用量 投与群	25 匹中 1 匹	3 mg/kg	<2122>	2019.5.28 ～ 2019.6.28	32 日	17.6%
				～	日	
中用量 投与群	25 匹中	10 mg/kg	2206	2019.7.23 ～ 2019.8.15	24 日	13.2%
			<2208>	2019.9.9 ～ 2019.9.16	8 日	4.4%
			<2213>	2019.9.3 ～ 2019.9.11	9 日	4.9%
			<2217>	2019.8.20 ～	1 日	0.5%
	5 匹		<2223>	2019.9.19 ～ 2019.9.20	2 日	1.1%
高用量 投与群	25 匹中	30 mg/kg	<2302>	2019.9.14 ～ 2019.9.16	3 日	1.6%
			<2303>	2019.9.6 ～ 2019.9.13	8 日	4.4%
			<2305>	2019.7.4 ～ 2019.7.9	12 日	6.6%
				2019.9.9 ～ 2019.9.14		
			<2309>	2019.6.22 ～ 2019.6.23	2 日	1.1%
			<2310>	2019.8.23 ～ 2019.8.29	7 日	3.8%
			<2311>	2019.6.24 ～ 2019.6.25	2 日	1.1%
			<2312>	2019.9.9 ～ 2019.9.13	5 日	2.7%
			<2313>	2019.8.23 ～ 2019.9.3	12 日	6.6%
			<2316>	2019.8.17 ～ 2019.8.19	3 日	1.6%
			<2317>	2019.8.4 ～ 2019.8.6	3 日	1.6%
			<2318>	2019.9.6 ～ 2019.9.14	9 日	4.9%
			<2319>	2019.7.11 ～ 2019.7.12	2 日	1.1%
			<2320>	2019.7.4 ～ 2019.7.12	9 日	4.9%
	<2323>		2019.8.31 ～ 2019.9.6	7 日	3.8%	
<2324>	2019.9.3 ～ 2019.9.5	3 日	1.6%			
16 匹	<2325>	2019.7.28 ～ 2019.7.30	3 日	1.6%		

合計	100 匹中 22 匹
----	----------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

動物番号欄がオレンジ色となっている個体は、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物である。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	カルシウム=ジホルマート		
物質No.	6	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	899	試験開始	2017.9.8
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2018.2.15
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	250 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	500 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 0 匹	1000 mg/kg	～	日	
			～	日	

合計	88 匹中 0 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	4-アミノフェノール		
物質No.	7	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	910	試験開始	2018.9.10
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2019.2.1
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	50 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	100 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 0 匹	200 mg/kg	～	日	
			～	日	

合計	88 匹中 0 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	o-ニトロアニリン		
物質No.	8	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	911	試験開始	2018.9.10
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2019.2.1
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	100 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	200 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 0 匹	400 mg/kg	～	日	
			～	日	

合計	88 匹中 0 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	5-クロロ-2-ニトロアニリン		
物質No.	9	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	927	試験開始	2019.10.1
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2020.2.14
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合	
溶媒 対照群	22 匹中 1 匹	0 mg/kg	<1009>	2019.11.21 ~ 2019.11.22	2 日	4.8%
				~	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	50 mg/kg		~	日	
				~	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	100 mg/kg		~	日	
				~	日	
高用量 投与群	22 匹中 1 匹	200 mg/kg	1319	2019.11.11 ~ 2015.11.15	5 日	11.9%
				~	日	

合計	88 匹中 2 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	酢酸亜鉛(II)		
物質No.	10	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	928	試験開始	2019.10.1
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2020.2.14
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	75 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	150 mg/kg	～	日	
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 0 匹	300 mg/kg	～	日	
			～	日	

合計	88 匹中 0 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	3,5,5-トリメチルヘキサ酸		
物質No.	11	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	940	試験開始	2010.9.10
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2021.2.1
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	~	日	
			~	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	150 mg/kg	~	日	
			~	日	
中用量 投与群	22 匹中 0 匹	300 mg/kg	~	日	
			~	日	
高用量 投与群	22 匹中 5 匹	600 mg/kg	<1305> 2020.10.17 ~ 2020.10.18	2 日	4.8%
			<1307> 2020.10.18 ~ 2020.10.20	3 日	7.1%
			1308 2020.10.18 ~ 2020.18.21	4 日	9.5%
			1309 2020.10.15 ~ 2020.15.18	4 日	9.5%
			1310 2020.10.16 ~ 2020.10.21	6 日	14.3%

合計	88 匹中 5 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	炭酸ジフェニル		
物質No.	12	試験対象動物	ラット
試験番号(バイオ)	941	試験開始	2020.9.10
試験方法	肝中期発がん性試験	試験終了	2021.2.1
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	42 日

※陽性対照群は除く

投与群	被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	22 匹中 0 匹	0 mg/kg	～	日	
			～	日	
低用量 投与群	22 匹中 0 匹	150 mg/kg	～	日	
			～	日	
中用量 投与群	22 匹中 1 匹	300 mg/kg	<1210> 2020.11.27 ～	1 日	2.4%
			～	日	
高用量 投与群	22 匹中 0 匹	600 mg/kg	～	日	
			～	日	

合計	88 匹中 1 匹
----	--------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。

動物番号欄が黄色となっている個体は、死亡等しておらず試験結果から除外する動物である。

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	2-クロロベンゾイルクロリド		
物質No.	13	試験対象動物	rasH2マウス
試験番号(バイオ)	933	試験開始	2020.3.5
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2020.10.29
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中	0 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
低用量 投与群	25 匹中	12.5 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
中用量 投与群	25 匹中	50 mg/kg		～	日	
	0 匹			～	日	
高用量 投与群	25 匹中 5 匹	200 mg/kg	<1301>	2020.6.14 ～ 2020.6.23	10 日	5.5%
			<1302>	2020.6.19 ～ 2020.6.22	4 日	2.2%
			1313	2020.6.19 ～ 2020.6.23	5 日	2.7%
			<1322>	2020.5.5 ～ 2020.5.12	8 日	4.4%
			1325	2020.8.4 ～ 2020.8.11	8 日	4.4%

合計	100 匹中 5 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

試験報告書未提出のため、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物は現時点では不明。

~~なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。~~

【個票】 要注意動物観察記録等情報まとめ

化学物質	2-クロロベンゾイルクロリド		
物質No.	13	試験対象動物	rasH2マウス
試験番号(バイオ)	934	試験開始	2020.3.5
試験方法	中期発がん性試験	試験終了	2020.10.29
投与方法	直接投与	被験物質投与日数	182 日

※陽性対照群は除く

投与群		被験物質濃度	動物番号	観察記録のあった期間	観察記録のあった日数	全投与日数に対する割合
溶媒 対照群	25 匹中 1 匹	0 mg/kg	<2010>	2020.9.24 ~ 2020.10.1	8 日	4.4%
				~	日	
低用量 投与群	25 匹中 2 匹	12.5 mg/kg	<2116> <2123>	2020.9.5 ~ 2020.9.7	3 日	1.6% 1.1%
				2020.8.19 ~ 2020.8.20	2 日	
中用量 投与群	25 匹中 1 匹	50 mg/kg	<2222>	2020.9.13 ~ 2020.9.14	2 日	1.1%
				~	日	
高用量 投与群	25 匹中	200 mg/kg	<2307>	2020.5.9 ~ 2020.5.21	21 日	11.5%
				2020.6.15 ~ 2020.6.22		
	3 匹		2310	2020.5.14 ~ 2020.5.18	6 日	3.3%
				2020.5.21 ~		
	<2322>	2020.6.29 ~	1 日	0.5%		

合計	100 匹中 7 匹
----	---------------

↑ 観察対象とされた延べ匹数

※動物番号で< >書きとなっている個体は、投与期間中に死亡等していることを意味する。

試験報告書未提出のため、腫瘍発生がなく試験結果から除外する動物は現時点では不明。

~~なお、当該個体は、最終評価時の有効動物数から除外されている。~~